

第4回ノアンフェスティバルショパンインジャパンピアノコンクール 受賞者体験レポート～ショパンナイト 2024 編～



田中 理恵さん A3 部門 第1位、ショパン・ナイト受賞 2024年10月渡航

フランス6日目。清々しい気持ちで迎えたノアンの朝。この為に私はフランスに来た！
今日という日を迎えました！

ホテルにも今日の演奏会、ショパンナイトのチラシが貼ってあるー！

朝食のピュッフェも沢山美味しくいただき、それからお迎えの車に乗りアルス城へ。
10時からマスタークラスが始まりました。

演奏する全ての曲のレッスンを受けたいのですが、そうもいかないで、アンダンテスピナートを受講曲に決めました。
そして、このマスタークラスがとても衝撃的！会場で聴いている方々もレッスンも会場も全て一体となっていて、
他のピアニストのレッスンを聴いている時には、聴講の方がここはこうよーみたいに歌い出すシーンも見られました。
音楽関係者？ショパン好き？とにかく感性が高い！マスタークラスは何度も受けたことがあるけれど、こんな体験初めてでした。
先生が求める音、音楽に少しでも近づけるよう、集中できたと思う。その中で心も指も理解できた時は音楽が別物になって、
特別な体験ができた。しかし、これらのバランスが崩れている時は、わかっているのに出来ないという現象が起き、
悔しくてたまらなかった。。いや。冷静に分析できず、理解できていないのである。。

聴講している時は、先生の要求を一瞬で冷静に客観視できるというのに ... これは誰でも
みんなそうだと思う。
そういうわけで、この、どちらも体験できるマスタークラスは色々な要素を秘めていて
丸々、諸々面白い。
このプレイエルがまた凄かった！昨日のコンサートでもアンリ先生が弾かれていたので、
自分が弾く前にイメージできたのも
良かった。今でも思い出せます。
自分が知っていたピアノにはない独特な感覚、そして1番知りたかった音を紡ぐ弾き方
に出会えた瞬間を。

マスタークラス後には、何人が声をかけてくださり、
あなたのピアノ、Délicat（繊細）って。
夜のコンサートも、楽しみにしてるって。



そしてこの後本当はジョルジュサンドの館（行き方は、シャトルー駅横のバスターミナル Grande
Routière から Culun 行きのバスに
乗って約30分 Nohant-Vic 停で下車。バス停を進行方向と逆に230メートル戻りプチホテル
「Auberge de la Petite Fadette」の看板を
見つけたら、その小道を進んでいくとジョルジュ・サンドの家の敷地に到着）に行きたかったの
ですが、ドライバーさんの都合が
つかなかったため、万が一バスが急に走らなくなって帰って来れずコンサートに出られなくなっ
たら、と思うと、今回は我慢。
ワインも我慢。ホテルでランチしてからお部屋で横になりながら、マスタークラスの録音を聴い
たり、イメージを重ねて時間を過ごしました。

いよいよ本番！こちら本番の会場。アルス城です！
昨日今日は満月で信じられない程空が美しく幻想的な夜。ショパンを想い、ジョルジュサンドを想い集う。
そんな方々にピアノを聴いていただける、時間を共有できる幸せを胸に、お城に入りました。

18時から MISINEUSEY 君、私ともう1人の日本人、神宮寺悠翔君のコンサート。20時から晚餐会。
そして応援してくださっていた、今は天国にいらっしゃる画家、工藤村正さんの元でも修行されフランス在住、
ご活躍の日本人画家、尾野裕一さんが奥様モニクさんと車で3時間かけて聴きにきてくださりました。
演奏前に会えて感激しているところ。

リハーサルを終え、22時開演。いよいよです。

Chopin, Frederic :

Nocturne op. 9-1 bmoll

Polonaise No.7「Fantaisie」op. 61 Asdur

Andante spianato Polonaise brillante op. 22 Esdur

Nocturne (lento con gran espressione) cis-moll KK.IVa/16

Fantaisie- Impromptu (posthume) cis-moll Op.66



アンコールも含め45分、ピアノ弾き終え、控え室に戻ってそしたら涙が込み上げて来た。
生きてて良かった。そのくらい幸せな時間でした。
今まで以上に、目に見えないものを感じられることが幸せに感じたことで、価値観が変わりました。
まだまだな、こんな私の演奏を聴きに來てくださっている日本の方々を想うと、また泣けてきた。

なんて深い世界なんだろう。
真の音楽家になる。新たな気持ちで。
ノアンの空の下、誓った夜となりました。



これらの機会をいただきましたベヒシュタイン様には本当に心より御礼を申し上げます。
日本に、なかなかこのようなコンクールはないので、皆さんぜひ挑戦してみてください。

「ピアニスト tarakarie - のんびり日記-」より一部文章を変更し、掲載
<https://piano11exblog.jp/33626834/> <https://piano11exblog.jp/33627672/>

第5回ノアンコンクールは2025年4月25日～27日開催。
お問合せは competition@bechstein.co.jp まで

